

テーマ「法と正義」(2025 年度入試)

【問題】 法と正義に関して、ローマ法大全には次の学説が収録されている。

- ・「法とは善と衡平の術である。」(学説彙纂第 1 巻第 1 章第 1 法文前文)
- ・「正義とは、各人に各人の権利を分配しようとする恒常不変の意思である。法の掟とは以下のこと、すなわち、誠実に生きること、他人を害しないこと、各人に各人のものを分配すること、である。」(学説彙纂第 1 巻第 1 章第 10 法文前文)
- ・「たしかに過酷ではあるが、法律はそのように書かれている。」(学説彙纂第 40 巻第 12 法文第 1 節)

以上を踏まえ、「法律の適用は正義の尊重と両立可能であるか」について、両立可能とする立場・両立不可能とする立場から、それぞれ(経験や体験ではなく)普遍的な例を論拠として示しつつ、800 字以内で客観的に論じなさい。解答は解答用紙の所定の欄に書きなさい。

〈参考〉 出題意図 ※入学試験終了後に大学が公表したものです

- ・自分自身の考えや知識を検討し、その妥当性を検証する。
- ・熟考を要する複数の論点を立てる。
- ・ひとつの問題について、複数の視点を比較検討した後に最適な解決を提示する。
- ・根拠ある主張や知識に基づいた論拠を述べることで、自身の見解を明確化する。
- ・学習によって得られた知識を適切に使用する。